



国土交通省

観光庁

Press Release

Japan Tourism Agency Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism



平成23年10月25日
観 光 庁

宿泊旅行統計調査(平成22年1月～12月)

～宿泊旅行統計調査の平成22年遡及推計を行いましたので、確定値として公表します～

- 従業者数10人以上の宿泊施設における平成22年の延べ宿泊者数は3億4,882万人泊であり、前年比は15.77%増。
- 従業者数10人以上の宿泊施設における平成22年の外国人延べ宿泊者数は2,602万人泊であり、前年比は42.22%増。

I 調査の概要(P1)

II 平成22年(1月～12月)分の集計結果の概要(P3～P6)

1. 従業者数10人以上の施設の、延べ宿泊者数は3億4,882万人泊で、うち外国人は2,602万人泊であり、宿泊者全体に占める外国人の割合は7.5%
2. 従業者数10人以上の施設の、国籍(出身地)別外国人延べ宿泊者数は、第1位が中国、第2位が韓国、第3位が台湾で、上位3カ国(地域)で全体の4割強

※ 平成22年第2四半期の調査より、従業者数10人未満を含む全宿泊施設に調査対象を拡充しております。データご活用の際、経年比較する場合等には、ご注意ください。

→参考:P3

問い合わせ先

観光庁観光経済担当参事官付 神山、北島、清水、鈴木

TEL 03-5253-8111(内線27-215、27-216)

03-5253-8325(直通)

FAX 03-5253-1563

Ⅱ. 平成22年分集計結果(確定値)の概要

1. 調査対象期間

平成22年1月～12月の1年間

2. 調査対象施設

◆第1四半期(平成22年1月～3月)

従業者数10人以上のホテル、旅館及び簡易宿所
調査対象施設数: 12,421施設

	10～29人	30～99人	100人～	計
施設数	7,510	3,799	1,112	12,421

◆第2四半期以降(平成22年4月～12月)

ホテル、旅館、簡易宿所、会社・団体の宿泊所などの全宿泊施設
調査対象施設数: 54,409施設

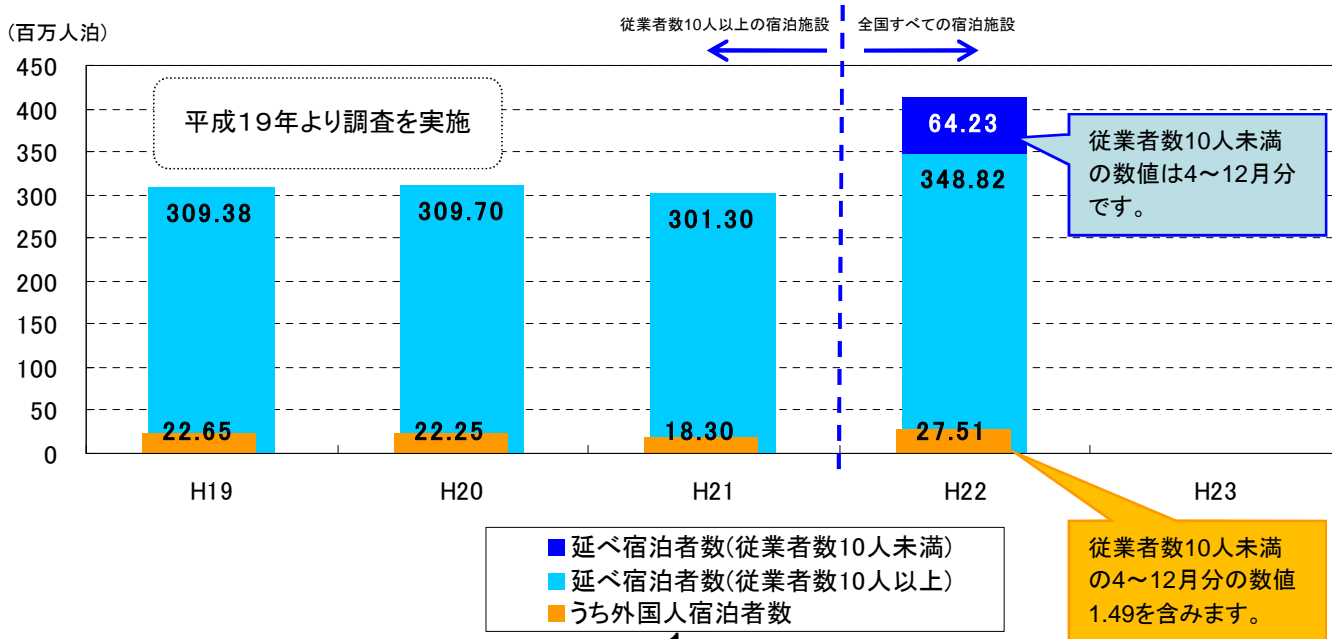
	10～29人	30～99人	100人～	計	【参考】0～9人
施設数	7,444	3,772	1,103	12,319	42,090

3. 回収率

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
回収率	72.6%	64.2%	65.9%	66.5%

4. 調査結果

年別延べ宿泊者数、うち外国人延べ宿泊者数の推移(平成19年～)



宿泊旅行統計調査の活用における留意点

平成22年第2四半期(4~6月調査)から、従業者数10人未満の施設も調査対象となりました。

調査結果をご活用の際はご注意ください。

● 遡及推計(確定値)とは

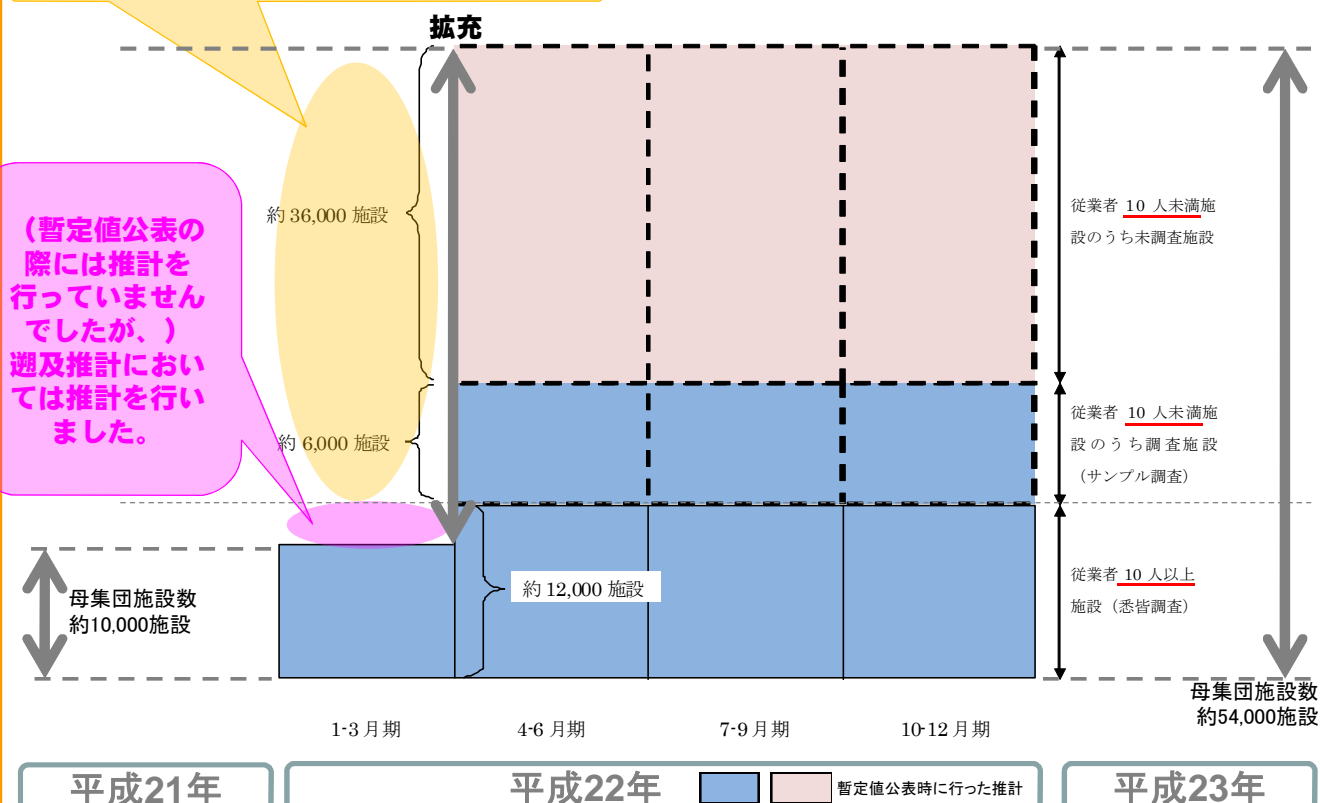
・1月1日現在の施設数を母集団施設数として1年間固定させ推計を行う四半期毎公表の暫定値とは違い、月毎の開業・廃業等を反映させた月毎の母集団施設数を基に推計を行ったものが遡及推計(確定値)です。

● 平成22年遡及推計の特徴

・平成22年第2四半期調査より調査対象を拡充しており、基本とする母集団施設数は拡充後の第2四半期のものです。また、第1四半期には調査対象外であった従業者数10人未満の宿泊施設等についての数値は一部参考値以外は推計を行っておりません。経年比較等する場合には、従業者区分等にご注意下さい。

遡及推計概要図

遡及推計においても推計を行っていません。



調査対象拡充の概要

1. 平成22年第1四半期以前の調査

- (1) 調査対象施設: 平成16年度事業所・企業データベース(総務省)を基に、国土交通省観光庁で補正を加えた名簿から抽出した、全国の従業者数10人以上のホテル、旅館、簡易宿所の宿泊施設
- (2) 集計結果: 全国の従業者数10人以上の宿泊施設における延べ宿泊者数等の推計値

2. 平成22年第2四半期以降の調査

- (1) 調査対象施設: 統計法第27条に規定する事業所母集団データベース(総務省)を基に、国土交通省観光庁で補正を加えた名簿から抽出した、全国のホテル、旅館、簡易宿所、会社・団体の宿泊所などの宿泊施設

調査施設については、従業者数に応じて以下のとおり

- 従業者数10人以上の事業所 : 全数(悉皆)調査
- 従業者数5人~9人の事業所 : 1/3を無作為に抽出してサンプル調査
- 従業者数0人~4人の事業所 : 1/9を無作為に抽出してサンプル調査

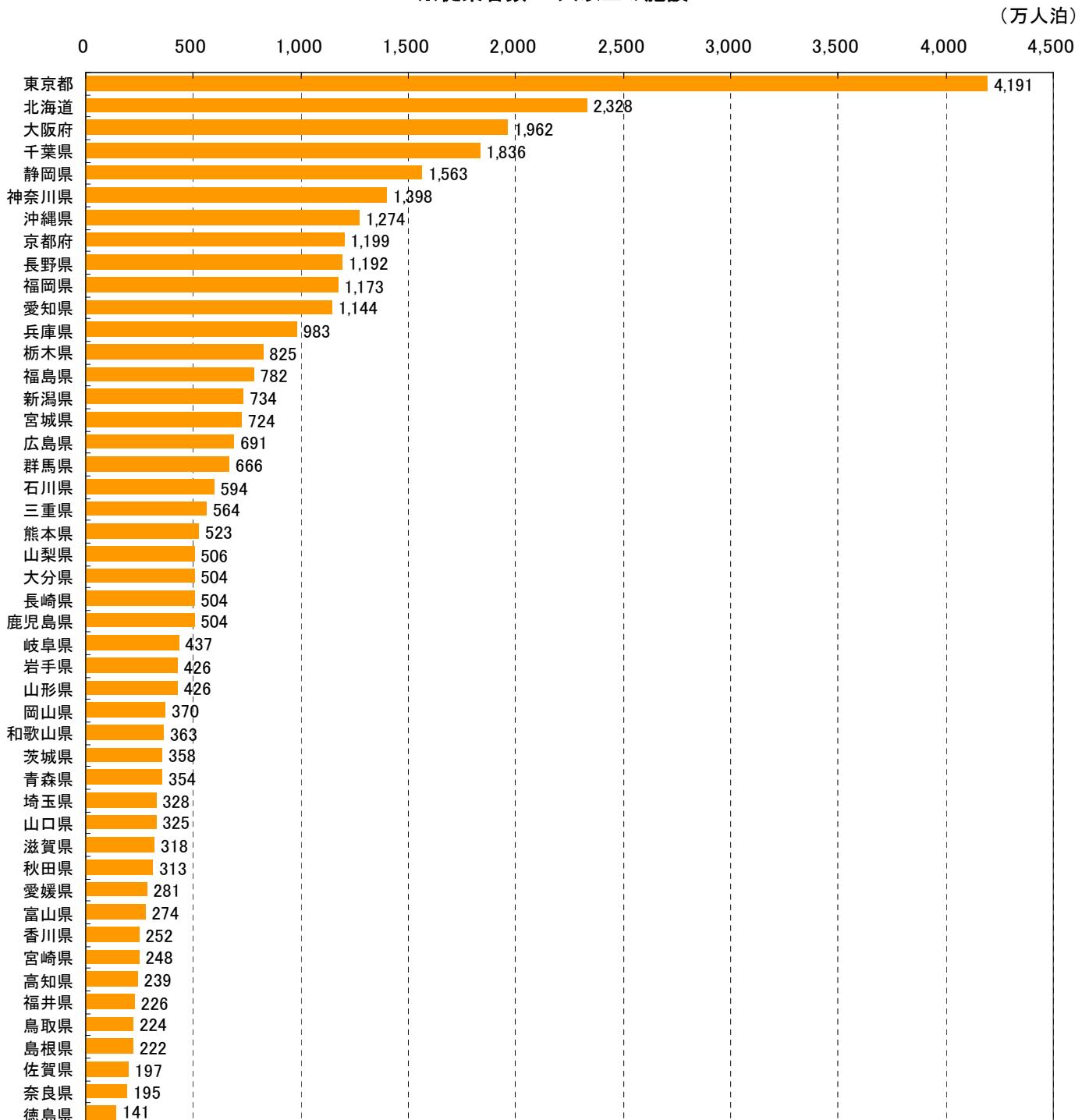
- (2) 集計結果: 全国のすべての宿泊施設における延べ宿泊者数等の推計値

5. 都道府県別延べ宿泊者数(従業者数10人以上の施設)

- 延べ宿泊者数は3億4,882万人
- 従業者数10人以上の宿泊施設における都道府県別延べ宿泊者数は、東京都が最多、第2位が北海道、第3位が大阪府、第4位千葉県、第5位静岡県であり、上位5都道府県の全国でのシェアは3割超

都道府県別延べ宿泊者数(平成22年1月～12月)

※従業者数10人以上の施設



6. 外国人延べ宿泊者数(従業者数10人以上の施設)

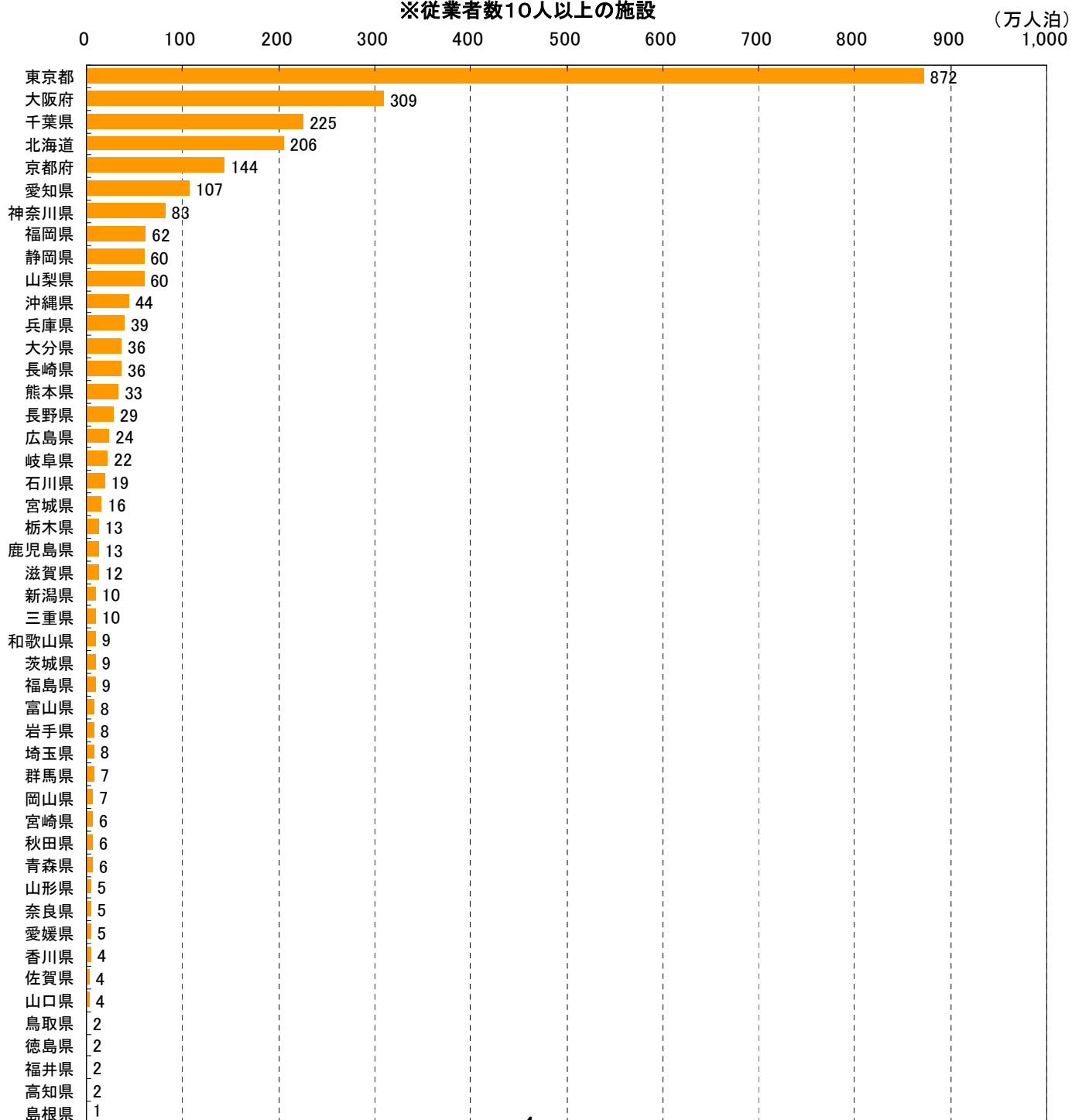
(1) 都道府県別外国人延べ宿泊者数

○延べ宿泊者数は2,602万人泊

○従業者数10人以上の宿泊施設における都道府県別延べ宿泊者数は、東京都が最多、第2位が大阪府、第3位が千葉県、第4位北海道、第5位京都府であり、上位5都道府県の全国でのシェアは6割強

都道府県別外国人延べ宿泊者数(平成22年1月～12月)

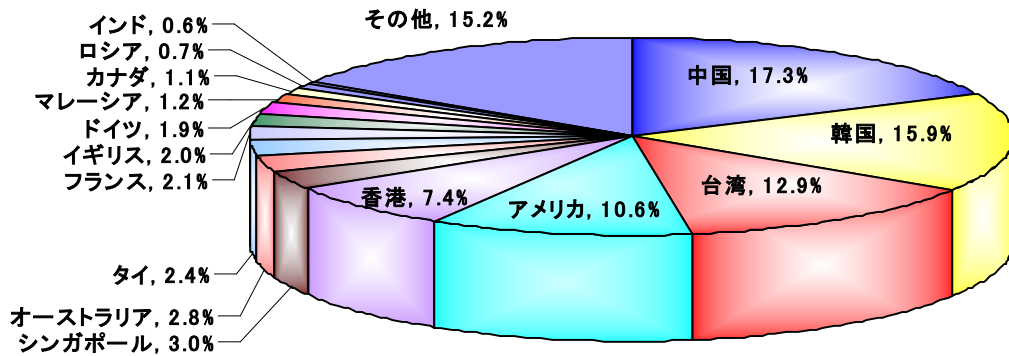
※従業者数10人以上の施設



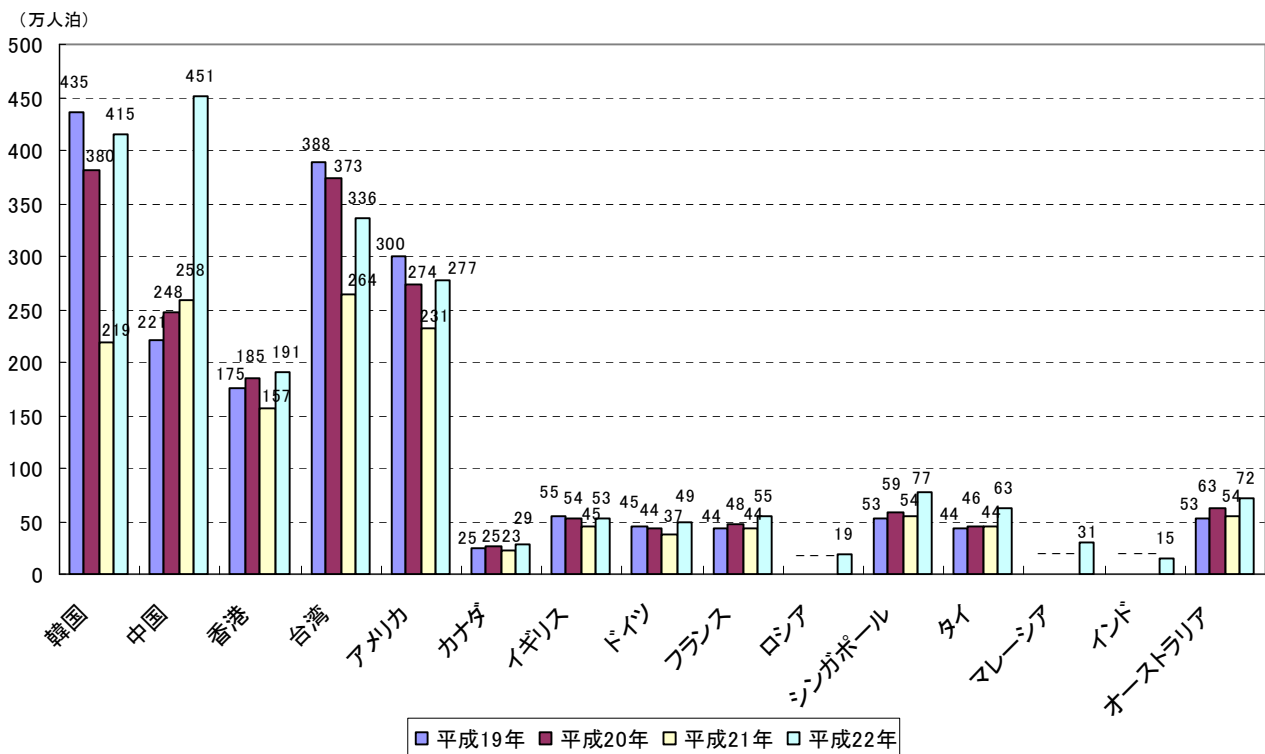
(2) 国籍(出身地)別比較

- 国籍(出身地)別外国人延べ宿泊者数は第1位が中国、第2位が韓国、第3位が台湾で、上位3カ国(地域)で全体の4割強
- 次いで、アメリカ、香港の順で、これら5カ国・地域の全体のシェアは6割超

国籍別外国人延べ宿泊者数(平成22年1月～12月)



国籍(出身地)別外国人延べ宿泊者数の推移



※平成22年調査よりインド、ロシア、マレーシアの3国籍を追加。

※従業者数10人以上の施設に対する調査から作成

国籍別、都道府県外国人延べ宿泊者構成比(上位5都道府県)(平成22年1月～12月)



※従業者数10人以上の施設に対する調査から作成

●宿泊旅行統計調査の詳細データについて

＜宿泊旅行統計調査＞の詳細データについては、下記ホームページに掲載しています。

国土交通省観光庁ホームページ
<http://www.mlit.go.jp/kankocho/>



(宿泊旅行統計ホームページ)